

# 資源化する文化と

# 地域社会の行方

—文化の継承のために—



富士山遠景



佐渡鉱山・北沢選鉱場



八戸大祭山車(長横町)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
**国立歴史民俗博物館**  
National Museum of Japanese History



会場 国立歴史民俗博物館 講堂  
千葉県佐倉市城内町 117

令和6年

7月13日

13:00~  
16:50

日土



# 資源化する文化

第118回歴博フォーラム

# と地域社会の行方

—文化の継承のために—



①農業遺産・輪島市白米千枚田 ②祇園祭橋弁慶山 ③秋田県男鹿の来訪神サミットに集合した来訪神(2020年2月) ④東栄町小林花祭山鬼 ⑤八戸大祭騎馬打毬(中目)



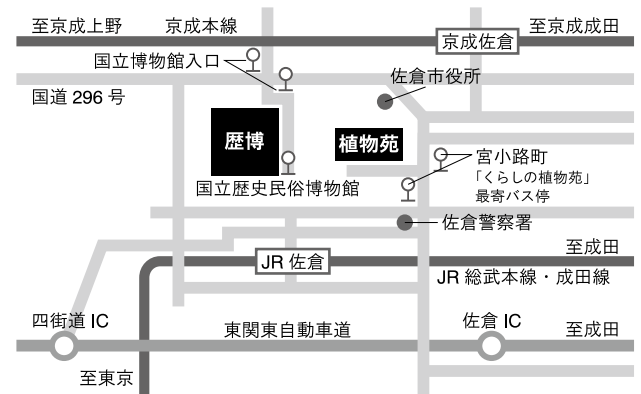
**本**フォーラムでは、現代日本における世界遺産・無形文化遺産、あるいは世界農業遺産などの文化資源をめぐる登録・認定制度、さらにその基盤となる日本の文化財保護制度が地域社会に与える影響について検証する。様々な災害や慢性的な人口減少のなかで、地域社会の諸文化は存続の危機にあり、地域を超えた文化の再編成が行われている。世界遺産に代表される文化の資源化は、地域振興に寄与する一方で、多くの課題も指摘されている。他方で地域社会のなかには、地元の内実に見合った文化への取り組みを試みる事例もみられる。

このフォーラムでは過去20年以上にわたって展開してきた世界遺産、無形文化遺産などの文化をめぐるグローバリズムのなかで、日本各地の地域文化がどのような変化を遂げ、いかなる課題に直面しているのかを、現場の最前線の事例から考え直していきたい。

プログラム (内容は変更される場合があります)

13:00-13:10	開会の挨拶 鈴木 卓治(国立歴史民俗博物館・教授)
13:10-13:40	文化遺産制度と地域社会の現在 川村清志(国立歴史民俗博物館・准教授)
13:40-14:10	文化遺産のストーリーと地域社会—世界遺産・富士山と地域遺産・遠野を事例に— 山川志典(国立民族学博物館 外来研究員)
14:10-14:40	「みんなの遺産」は可能か—佐渡金銀山にみる「価値」の探究と運動史から 門田岳久(立教大学観光学部交流文化学科・教授)
14:40-15:10	八戸三社大祭の“再”祭礼化 柏井容子(八戸市教育委員会・主査)
15:10-15:25	休憩
15:25-15:55	無形文化遺産の保護とコミュニティ概念再考 佐々木重洋(名古屋大学文学部・教授)
16:00-16:45	総合討論 コーディネーター 兼城糸絵(鹿児島大学法文学部・准教授)
16:45-16:50	閉会の挨拶 川村清志(国立歴史民俗博物館・准教授)

総合司会：真柄侑(国立歴史民俗博物館・特任助教)  
実行責任者：川村清志(国立歴史民俗博物館・准教授)



会場 **国立歴史民俗博物館 講堂**  
千葉県佐倉市城内町117

お問い合わせ TEL043-486-0123(代) <https://www.rekihaku.ac.jp>



**申込方法** 当館ホームページまたは往復ハガキでお申し込みください。

**申込期間** 2024年6月13日(木)～7月7日(日) (往復ハガキ必着)

**定員** 先着240名(定員は予告なく変更する場合があります)

### ■当館ホームページ

当館ホームページ → 展示・イベント一覧 → 開催予定  
をご覧ください。



### ■往復ハガキ

「第118回歴博フォーラム 7月13日参加希望」と明記の上、住所・氏名(ふりがな)・電話番号・同伴者(1名まで)を記入し、下記宛先にお申し込みください。

●申込先 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117

国立歴史民俗博物館広報・普及係